



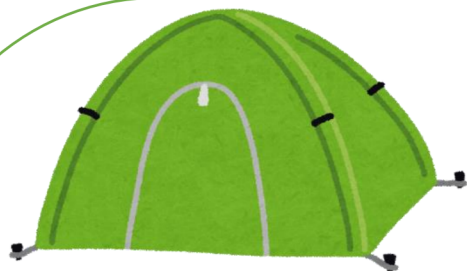
学園だより



第 51 号

発行 東京都船形学園

平成30年12月15日発行



小学生横割り活動について

小学生担当より

船形学園の活動の中に“横割り活動”というものがあります。横割り活動とは、小学生・中学生・高校生の年齢ごとに分かれて活動するもので、今回は小学生の横割り活動について紹介をしたいと思います。今年の活動の内容は近隣の海辺に遊びに行ったり、園内でキャンプをしたり、ハロウィーンで仮装大会をしました。

9月には園内のグラウンドで1泊2日のキャンプをしました。キャンプを行うにあたり、事前に何度か話し合いを行い、約束事やスケジュールなどを決めました。また、その話し合いの中で夕食はカレーを作ることになり、カレーに入れる具材なども自分たちで決めました。カレーは甘口と辛口の2種類作ることとなり、子どもたちからは「トマトやえのきの入ったカレーを食べたことないから入れてみたい」「ゆで卵も作って一緒に食べたい」などいろいろな意見があがりました。

当日は、昼頃からキャンプ活動を開始、高学年はテントを立てるところから始めました。そして、小学生全員でのカレー作りが始まりました。材料の



買い出しや火起こしなど小学生主体で行い、おいしいカレーを作りました。2種類のカレーを交互に食べたり、

混ぜて食べてみたりと試行錯誤！「おいしい！」と子どもたちはとても満足そうでした。

その後は花火をやってテントで就寝しました。初めてテントで寝る子もいて興奮して寝付けなかったようでした。

2日目はレクリエーションを楽しみ、昼食時には流しそうめんをしました。

麺をたくさんつかんで一生懸命食べている子もいれば、麺をつかむのに苦戦している子と様々でしたが、デザートのかき氷も含め、みんなお腹一杯食べられました。最後にキャンプの振り返りをして、子どもたちからは「思いやりのある行動が

たくさんあってよかった」という意見が多く挙がりました。

小学生の横割り活動では、小学生が思いやりの気持ちを持って行動できるように常に子どもたちに話し、子どもたちも意識して行動しています。また、日常ではなかなか経験できないようなことを経験させてあげることも目的の一つであり、経験を通じていろいろな知識がつくよう活動をしています。

今後も様々な活動を通して、子どもたちの持つ思いやりのある気持ちを伸ばしつつ、いろいろなことを経験していけるような活動を続けていきたいと思っています。



園長挨拶

園長 山本 国男



日頃、東京都船形学園の運営にあたりまして、ご協力、ご理解いただきありがとうございます。祭礼の際や夏休み期間中の行事など、船形学園の児童たちに格別の配慮をいただき、この場をお借りいたしまして御礼申し上げます。

これから年の瀬を迎え、児童たちも巣立つ者、新たなステップに進む者等、様々な準備に取り組む時期でもあります。皆様には、今後も変わらぬ支援をいただきますよう、お願い致します。

さて、船形学園で約一年半働いて感じたことをひとつ…。行動の裏には、その人の価値観がある」ということを知っていなければ、関係がうまくいかないことを理解して欲しいと思っています。

彼らの行動の価値観には、常識と考えられているようなことでも、気が付いたり、配慮したり、気持ちを寄せたりすることができないことがあります。これらは、生い立ちや経験のなかで学ぶ機会が無かったので、彼らの常識や価値観には存在していなかったり、理解ができなかったりするのです。そんな視点で見ると、いろいろ納得していなかったことが納得できるようにならないでしょうか。それが理解できると、コミュニケーションのとり方も、ちょっとした工夫変わってくるのではないかと考えています。

こうした中で、私が話しをしていくうえで心掛けているのが、

- ①自分が間違っているかもしれないと常に自分を疑うこと
- ②世の中には絶対的に正しい意見なんてないと認識すること
- ③正解は沢山あり、一つじゃないと認識すること

以上の3点です。他人とよく揉めてしまう人はこの3点を意識するだけでだいぶ改善するのではないかと思います。

地域交流 ～房州うちわ作りました～

今年度、11月に行われた地域交流行事では地域の方を交えて、子どもたちが3大うちわの一つと言われる房州うちわ作りに挑戦しました！！講師の方に作り方の説明をしてもらい、自分の好きな絵柄を選ぶと子どもたちは真剣な表情で作業に取り組んでいました。

「何で冬なのにうちわ作るの？」と首を傾げていた子どもも、「大切に使えば10年、20年使えるうちわ」だと聞くと夏に使うことを楽しみにしていました。待ちきれずに早速うちわで遊び始める子もいてとても楽しめたようです。



船形学園 園内行事！

7/23 江戸っ子杯ドッジボールの部

小学生は夏休みに入ってすぐに東京の墨田区総合体育館で行われる江戸っ子杯ドッジボールの部に参加してきました。この日のためにドッジボールの練習を2か月ほど続けてきました。「チームプレーを大切に」と子ども同士で声を掛けながら練習した成果もあり、ベスト8まで勝ち進むことができました。子どもたちが一生懸命プレーする姿がとても印象的でした。



7/28・29 船形地区合同祭礼

毎年恒例の夏のイベントの地区祭礼に今年も参加してきました。子どもたちは汗を流しながら山車を引っ張りました。夜は近隣の道路が歩行者天国となり、たくさんの山車が引かれます。子どもたちは出店で買ったおやつやジュースを食べながらその迫力に圧倒されていました。



8/2 合同水泳

船形学園の近くにある海水浴場まで歩いて行き、海水浴をしてきました。職員と子どもでペアとなり、子どもに合わせて深い場所まで泳いで行ったり、浅いところで楽しんだりしていました。また、休憩時にはスイカ割りをしました。順番に棒をもって目隠しをした状態で歩き始めます。見ている子どもも手を鳴らしたり大きな声を出したりして、スイカが割れるように協力していました。割ったスイカはすぐに食べました。子どもたちはとてもいい笑顔でした。



8月 宿泊レクリエーション

8月の夏休みを利用して、部屋ごとに宿泊のお出かけをしてきました。学園全体の行事もとても楽しいのですが、部屋でのお出かけは、行きたいところに行きやすいのいいところです。夏休みの前に行きたい場所や日にちなどを職員と子どもたちの話し合いで決めて、その場所へお出かけします。



今年はディズニールンドや都内の遊園地、ラウンドワンなどに行きました。当日は朝早くに学園を出発し、一日中遊び通しです。2日間遊びっぱなしであるため、帰ってくる時はぐったりとしていたのですが、とても楽しかったと皆、言っていました。



焼肉ダイニング大和館山店さんから招待されました！！



株式会社大和フーズ焼肉 DINING 大和館山店さんに招待していただき、焼き肉を食べに行きました。

テーブルにたくさんのお肉と野菜が並んでおり、子どもたちは興奮していました。幼児から高校生まで参加させていただき、おいしいお肉をごちそうになりました。子どもたちは、お腹いっぱい食べられてとても幸せそうな表情をしていました。子どもたちは口々に「また行きたいね！」と言っていました。

焼肉 DINING 大和館山店さん、美味しいお肉と楽しい食事、素敵な機会を作っていただきありがとうございました。またお店に伺いたいと思います！

学園に新しい遊具がやってきた！



このたび、船形学園のグラウンドに特定非営利活動法人プレイグラウンド・オブ・ホープ様の紹介で、ヒルトン東京ベイ様より遊具をご寄贈いただきました。この遊具はプレイグラウンド・オブ・ホープ様の支援事業で、東日本大震災の被災地をはじめ、全国の児童養護施設に子どもの遊び場を提供されています。また、遊具の寄贈だけでなく、砂場の整備やサッカーゴールのペンキの上塗りなどでもいただきました。設置が完了した日には、BBQでハンバーガーやホットドッグを振舞って下さり、みんなで美味しくいただきました。その後、さっそく新しくできた遊具で遊びました。とても楽しい時間になりました。プレイグラウンド・オブ・ホープ様、ヒルトン東京ベイ様どうもありがとうございました。



ボランティアさん大募集！

あなたの趣味や特技を生かしてみませんか。

船形学園では、学習指導をしてくださる方、子どもたちと一緒に遊んでくださる方、行事のお手伝いをしてくださる方などの各種ボランティアを募集しています。お問い合わせ・お申し込みは 支援グループ 中河までご連絡ください。



学園だより 「さざなみ」第51号
発行年月日 平成30年12月15日発行
編集・発行 東京都船形学園
千葉県船形1377番地
電話 0470-27-2921
ホームページ funagaku.org

編集後記

師走に入り、いよいよ慌ただしく毎日が過ぎていく季節となりました。皆様お変わりなくお過ごしですか。地域、関係機関、保護者の皆様には、いつもご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。

さて、船形学園の広報誌である「さざなみ」ですが、今号は学園でレイアウトなどを作成しました。お見苦しい点多々あるかと思いますが、ご愛読の程よろしくお願い致します。様式は変わりましたが、これからも学園の様々な様子をみなさんにお伝えしていければと思います。

この号に関するお問い合わせは、船形学園広報担当者までお願い致します。

第51号編集長 榎 晃平